

かがやき

令和5年11月14日
NO. 7
紀の川市立
貴志川中学校
校長 山田 浩史

新人大大会が終了

9月12日(火)の那賀地方中学校陸上大会を皮切りに、中学生の秋のスポーツの戦いが始まりました。令和5年度那賀地方秋季新人総合体育大会が、10月21日(土)・22日(日)の両日にわたって那賀地方の各会場で開催されました。所謂(いわゆる)、新人大大会です。夏の総合体育大会が終了して、それぞれの部活動の中心が2年生となりました。今年の夏は、例年になく記録的な猛暑となり、厳しい暑さの中で、各チームで、技術とチーム力の向上に努めてきました。その夏の成果が試される時となりました。

どのチームも、荒削りの部分を残し、力を出し切って戦っている姿が印象的でした。裏面の那賀地方大会の結果からもわかるように、例年以上に多くのチームが、県大会へ出場することとなりました。バスの手配をする教頭先生にとってもうれしい悲鳴です。

11月3日(金)・4日(土)・5日(日)、11日(土)・12日(日)の2週間にかけて、和歌山県中学校新人大会が県内各地で開催されました。県大会に出場する選手の皆さんは、那賀地方の代表として、インフルエンザの流行する中、精一杯戦ってきてくれました。

女子ハンドボール部は、県大会でも優勝し、来年の三月下旬に、富山県氷見市で「春の全国中学生ハンドボール選手権大会」に出場することとなりました。

これで、令和5年度中学校体育連盟が主催する大会のほとんどが終了しました。冬の間は、協会や連盟の大会がありますが、冬の寒さに耐え、令和6年度の春の大会に向けて、さらに技術力を高めるとともに、チームの絆を強めていくこととなります。

それぞれの大会の結果は裏面の通りです。

スクールサポーター活動が再開されました

貴志川中学校では、以前よりスクールサポーターの活動として、地域住民の皆さんに「安全・巡視交通指導サポーター」、「図書サポーター」、「学習支援サポーター」、「環境サポーター」の4種類の支援を行っていた。令和2年の冬に始まった新型コロナウイルスの拡大により、様々な教育活動が、感染症対策という制限の中で工夫しながら行われてきましたが、3年間、外部の方に学校に入っていたことが難しくなり、これまで築いてきた学校と地域の関係も弱体化してしまいました。

そのような中で、昨年度から学校運営協議会を中心として、地域連携の形を模索していきましました。そこではじめに、活動が休止状態であったスクールサポーターの活動を復活させることから始めることとなりました。

去る9月14日(木)にスクールサポーター会議を開催しました。そこで、活動内容と活動計画について協議をし、10月から本格的に活動していくことになりました。その活動内容について紹介します。



11月8日、中庭の花植作業の様子

- 「安全安心サポーター」
- ・毎月1日・15日を中心に、あいさつ運動をかねて、登校指導を行う。
- ・不審者が出没した際の見守り活動を行う。
- ・月2回(第2・第4)の金曜日を中心にの昼休みに校内の見回りをを行う。

- 「図書館活動サポーター」
- ・月3日昼休憩中の図書館貸し出し活動をサポートする。
- ・今後、読み聞かせ活動や学校司書の活動のサポートも検討中。

- 「学校環境サポーター」
- ・生徒と共に、中庭の花壇等の整備を行う。
- ・校内の掲示物張り替え等を行う。

- 「学校活動広報サポーター」
- ・学校便りを各コミセン等で掲示・配布する。

11月8日(水)の放課後、「学校環境サポーター」として、更生保護女性会の皆さんを中心に、生徒会の整美委員会の生徒と一緒に、中庭や正門前の花壇に、ピオラとチューリップを植えていただきました。これから冬の間、学校に安らぎを与えてくれること期待しています。ありがとうございました。

北館・西館・部室がきれいになりました

7月から始まった北館・西館・部室の外装塗装工事がほぼ終了し、きれいな建物の外観が現れました。北館は、ピンクだった部分が、ブルーに塗り替えられ、渡り廊下とマツチするようになりました。西館も、古さを感じられないほど真っ白に塗られました。工事の方々に、猛暑の中での作業本当にお疲れ様でした。きれいになった校舎をいつまでも大切に使っていきたいと思えます。



